

居住地交流の記録

児童の学年	小学校2年生	日付	4月	教科	生活 体育
交流のねらい （この時間） オリエンテーション	・顔と名前を知ってもらう。 ・小学校の友達と簡単なゲームをする。 ・友達と簡単なきまり（鬼ごっこのルール）のある遊びをすることができる。				
時間	活動例				
8:50	○自己紹介 ・keynote を活用した自己紹介。支援学校担任より、本人の苦手なこと・気を付けてほしいことを伝える。 ・クイズ 本人が勉強していることや好きなこと、学習で使っているものなどを友達が答える。				
9:00	○作品紹介・簡単な作品作り ・本人が特別支援学校で作ったものを紹介する。 ・ビー玉転がし絵を作成。教員と本人が手本を見せる。 ・本人と小学校の友達代表2名で行う。 （活動する相手は本人が指差して指名） ・手元の動きをTVに映す。待機している児童はTVを見たり活動の様子を見たりして過ごす。				
9:15	○じゃんけんゲーム ・本人と同じものを出した人の勝ち。 ・「グー」「チョキ」「パー」のカードを選んで出す。 ・本人が先に選んでタイミングよく出す。				
9:25	○自己紹介カードの紹介 ・小学校の学級で使用しているものを支援学校で作成。 ・1つずつ教員と児童が読み上げる。				
9:30	休み時間（体育館へ移動）				



9 : 35	○ハンターゲーム ・2 グループに分かれて鬼ごっこ 計 4 回 【本人が鬼】 ルール ・カラーコーンで活動範囲の枠を示す。 ・手のついたカラー棒（プールスティック）で友達をタッチする ・保護者か教員が押す。 ・逃げるのは10～15人 ・鬼は本人のみ ・逃げる人はケンケン ・特定の音楽が鳴っている間は、逃げている人は止まる ・タッチされた判定は教員の笛。タッチされたら枠から出る。	 
9 : 55	○手つなぎ鬼 【本人は逃げる】 ルール ・環境設定は上記と同様 ・5人で手をつなぎ、ケンケンで車いすの本人をタッチする。	
10 : 05	○感想発表 ・全員とタッチをしてさようなら。	

〈様式6〉

居住地交流の記録

振り返り 次回配慮すべきこと	・特別支援学校での過ごし方を伝えることができた。 ・休み時間も本人とかかわろうとする児童が多かった。 ・クラス替えがあるため、年度初めの自己紹介は毎年行ったほうが良い。 【体育館の活動】 ・車いすを勢いよく動かすため、接触の注意が必要。 ・2年生で手を離さないルールを守ることは難しかった。
---------------------------	---